

臨床調査個人票から得られる難病の発病年齢

オオタ	アキコ	ナガイ	マサキ	ニシナ	モトコ
太田	晶子*	永井	正規*	仁科	基子*
シバザキ	サトミ	イシジマ	ヒデキ	イズミダ	ミチコ
柴崎	智美*	石島	英樹*	泉田	美知子*

目的 特定疾患治療研究事業対象疾患について、その発病年齢分布を明らかにする。

方法 電子入力された2003年度臨床調査個人票を用いた。臨床調査個人票に記載された発病年と生年から発病年齢を算出し、疾患別、性別に発病年齢の5歳階級別受給者数、パーセントイル値、好発年齢を求めた。

結果 特定疾患では、中高年に好発する疾患が比較的多かった。しかし、原発性免疫不全症候群、亜急性硬化性全脳炎、ライソゾーム病、表皮水疱症、神経線維腫症Ⅰ型、神経線維腫症Ⅱ型では好発年齢が20歳未満であった。好発年齢が20～40歳代にある疾患は、大動脈炎症候群、全身性エリテマトーデス、ベーチェット病、副腎白質ジストロフィー、多発性硬化症、潰瘍性大腸炎、クローン病であった。発病年齢分布が2峰性を示す疾患は、再生不良性貧血、特発性血小板減少性紫斑病、重症筋無力症、モヤモヤ病、サルコイドーシスであった。その他の疾患の多くでは好発年齢は40歳以上であった。

結論 電子入力された2003年度臨床調査個人票を利用することにより、特定疾患治療研究事業対象疾患の好発年齢、発病年齢分布を系統的に明らかにすることができた。本研究結果は、各難病の自然史に関し貴重な情報を与えるものである。

Key words : 難病, 発病年齢, 臨床調査個人票, 特定疾患医療受給者

* 埼玉医科大学医学部公衆衛生学教室
連絡先：〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38
埼玉医科大学医学部公衆衛生学教室 太田晶子